

# ごあいさつ



取締役頭取

植野康夫

平素より私ども南都銀行をご利用、お引き立ていただき誠にありがとうございます。当行は、おかげさまで、平成26年6月1日に創立80周年という節目を迎えることができました。これもひとえに地域の皆さまや株主の皆さま、そしてお客様の永年にわたるご支援の賜であり、役職員一同心より感謝申し上げます。

このたび当行についてのご理解をより一層深めていただくため、平成26年3月期の営業の概況等をわかりやすくお知らせする「ミニディスクロージャー誌/第126期 営業のご報告」を作成いたしました。ご高覧いただければ幸いに存じます。

わが国経済はアベノミクス効果もあり、企業業績をはじめ個人消費など全般的に緩やかな回復基調が続いてきました。昨年度終盤からは4月からの消費税率引上げに伴う駆け込み需要があり、今年度に入ってからもその反動が一部にみられるものの景気は緩やかな回復基調が続いています。

奈良県を中心とする地元経済においても企業の景況感は改善方向に向かっており、個人消費面でも回復の動きが緩やかに続いている。

こうしたなか当行は、創立90周年までの10年間の経営ビジョンを「活力創造銀行」として、営業地域および当行の活力を創造する銀行をめざすべく、中期経営計画「活力創造プラン」(平成26年4月～29年3月)をスタートさせました。地域の活性化や預金・貸出金等の増強による規模の拡大を通じた収益機会の創出に取組んでまいります。

この創立80周年の記念の年に、役職員一同、決意を新たに一層の研鑽に励み、従来にも増して質の高い金融サービスをご提供することにより、活力創造銀行として皆さまのご期待にお応えできるよう精一杯努力していく所存でございます。

今後とも一層のご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

平成26年6月